

原 安 第 1 0 3 号
平成26年9月30日

福島第一原子力発電所事故対策
みやぎ県民会議構成員 殿

宮城県環境生活部長
(公印省略)

平成26年度放射線・放射能に関するセミナー・相談会について(通知)
県の原子力発電所事故被害対策につきましては、日頃格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、放射線・放射能に関する正しい知識の普及と県民の不安の解消を図るため、「平成26年度放射線・放射能に関するセミナー・相談会」を開催することになりましたので、御承知願います。

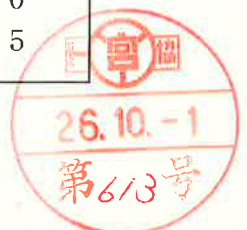
つきましては、別添のとおりリーフレットを送付しますので、会員等への周知について配慮願います。

なお、リーフレットは下記にも掲載していますので、御活用願います。

記

- 1 原子力安全対策課HP (<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/>)
- 2 放射能情報サイトみやぎ (<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/event/>)

原子力安全対策課
事故被害対策調整班 中村
電 話 022-211-2340
FAX 022-211-2695



放射線・放射能に関するセミナー・相談会

放射線・放射能が健康に与える影響などについて、専門家がわかりやすく解説し、皆様の疑問にお答えします。また、放射線技師が相談会でお一人お一人の疑問にお答えし、会場では食品の測定実演等も行います。昨年度、多くの方からご好評をいただきました。


今回は、土曜日の開催となりますので、たくさんの方々の参加をお待ちしております。

日程	場所	定員
平成26年 11月8日(土)	仙台国際センター「レセプションホール桜2」 (仙台市青葉区)	160人

入場無料で、事前の参加申込は不要です(先着順)。

プログラム

- 開場 / 12:30 ●セミナー / 13:00~14:45

テーマ	講師
内部被ばくの現状と 今後注意すべきこと (60分)	 <p>●坪倉 正治(つぼくら まさはる)氏 ～原発事故後、福島県浜通り地区で 医療支援・内部被ばく検査に携わる～</p> <ul style="list-style-type: none">●現職<ul style="list-style-type: none">・東京大学医科学研究所 研究員・南相馬市立総合病院 非常勤医・相馬中央病院 非常勤医●主な経歴等<ul style="list-style-type: none">・東京大学医学部卒・鉄蕪会 亀田総合病院 研修医・帝京大学ちば総合医療センター 第三内科 助手・都立駒込病院 血液内科 医員
質疑応答 (45分)	事前にお寄せいただいた質問のほか、会場からの質問にも講師がお答えします。

- 相談会 / 15:00~16:00

セミナー終了後、宮城県放射線技師会による相談会を開催します。皆様が日ごろ疑問に思っていることについてお答えしますので、お気軽におたずねください。(各会場先着10人程度。当日受付でお申し込みください。)

- 測定実演 ～「目で見える放射線・放射能」～ / 15:00~16:00

専用の機器を用い、自然界に存在する放射線を見ることができます。また、お持ちいただいたご家庭の食材の放射能を測定し、解説します。(食材の測定は、先着5人程度。裏面問合せ先まで事前にお申し込みください。)

事前質問・問合せ

放射線・放射能の健康への影響に関して、日ごろ疑問に思っていることや専門家に聞きたいことを、質問欄に記入し、FAXで下記までお寄せください。

電子メールの方は、性別・年齢・質問事項を下記アドレスまでお送りください。

お寄せいただいた質問には、セミナーでお答えします。



質問のあて先・問合せ先

宮城県 環境生活部 原子力安全対策課
事故被害対策調整班

電話：022-211-2340 FAX：022-211-2695

電子メール：gentaij@pref.miyagi.jp

URL：<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/event/>

●会場案内

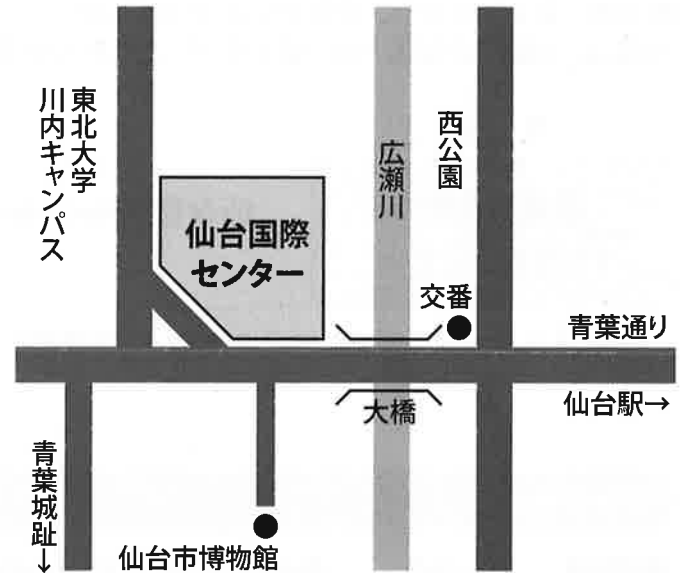
仙台国際センター

仙台市青葉区青葉山

☎022(265)2450

(市バス「博物館・国際センター前」下車)

会場の駐車場は有料で、数に限りがあります。



質問欄

性別 (○で囲んでください。)	男 ・ 女	職業	
年齢 (○で囲んでください。)	10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代以上		
質問事項			